

ユズリハ だより

メール air-tokyo@herb.ocn.ne.jp 70号

2014.3.20(70)
東京公害患者と家族の会
文京区小石川5-34-12
アビタマツモト2F
TEL03-5802-2170 FAX03-5802-2377
ぜん息110番
03-5840-8446

3月3日(月) 知事に直接届けたいと面談を求めた記者会見を何とか舛添都知事に伝

2月27日(木)都庁舎内において、知事本局掘課長はじめ4名との話し合いが行われました。メーカーへの財源再拠出を求める都の姿勢は、相変わらず熱意に欠けたもので、参加者からは強い批判の声があげられました。「知事本の職員が、制度存続のために努力する気持ちがない!」ことが明らかになり、これまで患者のみならず、送られてきた二五〇〇通余りのハガキを提出してきましたが、もう知事本に託すことはできないと決断せざるを得ませんでした。

2月27日 都庁舎内



ハガキ200通と要望書を手渡す

えたい。今続々と患者会に届けられる、患者の切実な声が続々と届いたところ、3月6日(木)



NHKの首都圏ニュースで報道

手前が記者、奥が患者会です。原弁護士と、都条例患者4人

1月10日から何度も都議会全会派に要請を重ね、自民・公明(議会中は避けた)との答えを、除く全ての党派(みんな・民主・共産党・生活ネットワーク)に患者の思いを聞いていただくための面談をしました。その結果、共産党の和泉議員が一般質問で、「医療費助成の新規認定打ち切り、全額助成を一部(患者2割負担)にする見直しを現行制度の継続にすべき」と求めました。

一方都議会では



東京 Xテレビも取材・報道!

知事秘書課長が対応することになりました。

舛添都知事の回答は、舛添都知事は、「見直しは当然」「税金を使うのだから都民の理解が得られなければ」との考えを示したが、都民に理解を得られずとも進めていく計画が多数ある中で、この発言は詭弁としか受け取れない。患者との面談も拒否 3月7日の定例記者会見において、舛添都知事は「いま患者との面談は考えていません」と回答しました。患者会からの確認にも秘書を通じて、「所管(知事本局)に任せてある」とだけ答えました。都知事として、患者の声を聞き判断してほしいという私たちの思いは届きませんでした。しかし、ここであきらめるような東京公害患者と家族の会ではありませぬ。切実な思いがしたためられた患者のみなさんから届けられたハガキを、

予定とお知らせ

- 3月
 - 25(火) 公害対策まちづくり委員会
 - 26(水) 第6回道路連絡会 板橋連絡会 駅頭宣伝行動
 - 27(木) 品川患者会・あおぞら連絡会 合同会議
 - 28(金) 品川支部八潮班
 - 29(土) 三役会・患者会 幹事会
 - 31(月) 東京都交渉 13:30~
- 4月
 - 1(火) 総行動地域オルグ
 - 2(水) 総行動地域オルグ北区連絡会 14:00~
 - 4(金) 弁護士会議 公害センター 10:00~

- 東京あおぞら連絡会 常任理事会 13:30~
- 5(土) 大気汚染測定報告集会 渋谷区立消費者センター 13:30~
- 5(土) 第2回フクシマ現地調査 8:00~7(月)
- 9(木) 三多摩市・医師会・薬剤師会 要請
- 11(金) 救済懇 公害センター 10:00~
- 12(土) 板橋患者会・連絡会 合同会議 14:00~
- 13(日) 総行動事務局会議 公害センター 13:00~
- 14(月) 事務局会議 本部 13:30~
- 17(木) 弁護士会議 公害センター 18:00~
- 19(土) 足立支部春のつどい 曙会館 14:00~
- 21(月) 東京あおぞら連絡会 総会 文京シビック 4階 18:30~ 幹事全員、

患者会 - 泊バス旅行 稲垣温泉とホテル銀水荘方面と芦ノ湖

日程 5/18(日) 5/19(月) <<大型観光バス>>

参加費 1万円 患者会/家族・あおぞら連絡会・賛助会員

- 行程 1日目 5/18(日) 都内 沼津 三島大社(参拝) 葦山 浄蓮の滝(休憩) 東伊豆伊名取温泉 (銀水荘泊)
- 2日目 5/19(月) 東伊豆稲取温泉 伊豆高原(海産物買い物) 芦ノ湖めぐり(船/昼食) 都内

申し込み等について、詳しくは別紙チラシをごらんください

署名にご協力ください、とても大事な署名です

国民署名 なくせ公害・守ろう地球環境 6月の環境月間に行われる「全国公害被害者 総行動」6/4~6/5での環境大臣交渉において提出されます。

請願署名 国は今こそ水俣病の全面解決を! 新潟ミナマタ病患者会のみなさんには、私たちが取り組んでいる請願署名に多くの署名を送っていただきました。私たちもできることは協力をしたいと思います。

何としても都知事に届けたいと思います。

3月29日(土)午前三時、午後幹事会で、これからの進め方について討議されますが、幹事のみなさんは「まだまだやれることがある」と思っています。

私たちの思いは、広がっています

新聞やテレビを見て、患者会に電話や手紙を送ってくださる患者の方もいます。

ぜん息患者の声を届ける会からも

公害患者の会では

ない、全国の患者5団体で構成する「ぜん息患者の声を届ける会」の代表が都庁を訪れ都知事宛てに「制度継続を求め要請書」を提出しました。同会は全国に5千名の会員があり、助成対象ではない他県の患者もいま

すが、都の認定を受けている会員のために、また全国に広めるモデルケースになると、私たちが継続を求めています。国に求める新たな救済制度創設にも、手を携えられると思います。

支部活動報告

足立支部総会 交流会も楽しく

患者会足立支部の二〇一三年度総会が、1月25日(土)千住曙共同会館で開かれました。

今回は弁護士団の都合がつかず、記念講演はできませんでしたが、事務局より秋元副会長に来賓として、ご挨拶をいただきました。例年支部総会は11月に開かれていましたが、東京都による「東京都大気汚染医療費助成制

度」見直しの経過を見ているうちに年を越しての開催となつてしまいました。

総会では、一年間の取り組みを報告。患者会の中で足立支部の果たす役割が改めて再確認されました。東京都の見直しの改悪案を最後まで撤回させて、現行制度の継続を勝ち取るまで奮闘を誓いました。

支部役員では、川崎支部長代理が残念ながら亡くなり退任されましたが、二人の新役員を迎えることができました。

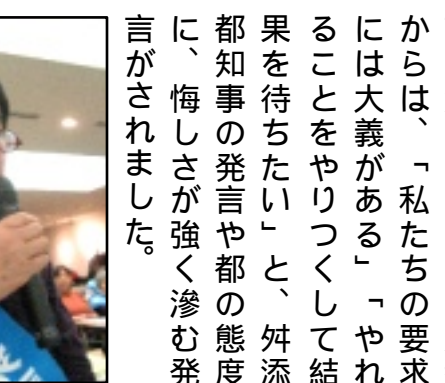
来賓として、浅子けい子区議会議員・小林重信足立あおぞら連絡会事務局長・星野陽子健和会看護部長からのご挨拶をいただきました。



オカリナを吹く小林さん

第36回合同総会開催

3月2日(日)患者会・原告団合同総会が開かれました。今年の総会は「東京都医療費助成」の見直しについて、決り集会のような総会になりました。尾崎弁護士から情勢報告・増田事務局長から一年間の総括とこれからの方針提起がされました。会場からも力強い発言が続きましたが、患者からは、「私たちの要求には大義がある」「やれることをやりつくして結果を待ちたい」と、舛添都知事の発言や都の態度に、悔しさが強く滲む発言がされました。



一方、支援のみなさん



年頭から行動が立て続けに行われ、特に1月2月の極寒の中での座り込み行動は、忘れられないことでしょう。

環境・交通まちづくり市民フォーラム 2014年

環境・交通まちづくり市民フォーラム2014年。今年、「公共交通推進」と物流の新たな可能性をテーマに2月23日(日)を開催しました。



理事、事務局、会場風景

鉄道、舟運、自転車など公共交通利用を推進し、自動車や航空機による輸送を代替することや物流と公共交通の連携や混合輸送など環境にやさしい新たな輸送の可能性について講演や報告をもとに交流しました。

の道筋について、自動車にたよる街づくりが行われたため、低密度市街地が拡大して、公共交通の利用者が減少して、経営が成り立たなくなつてしまつと指摘しました。若者の自動車離れがすすみ、自動車ドライバーも構造不況業種になつてきている。公共交通とまちづくりをめざす富山市では、「公共交通の利便性向上、クルマにたよらずに暮らせる。賑わい拠点の創出。まちなか居住の推進」でコンパクトなまちづくりを進めていくとのこと。各地でも交通と環境に配慮した取り組みが始まっていること。京都市「歩くまち・京都」、新潟市「公共交通および自転車移動しやすく快適に歩けるまちづくり条例」が例に出されました。最後に南太秦地域での



西村隆雄さん

「サンデーモーニングカフェ」町内困りごと相談アドバイザー、運動会などの取り組みを紹介し、個人が変わると社会が変わることを強調されました。

日本初の貨物自転車シェアリング、椎原晶子さん(その法人たいとう歴史都市研究会副理事長)は「住民でつくる、谷中のまちと暮らしの作法集」を報告いただき議論しました。



パネラーのみなさん左端が土井教授 会場風景

パネラーの西村隆雄弁護士さんは「PM2.5等大気汚染現状報告」、須永倅子さん(その法人江東区水辺に親しむ会理事長)は「河川とまちをつなぐ舟運」、小美野智紀さん(らくもび)は「混合輸送による旅客と物流の共存」、江崎美枝子さん(喜多見ポンポコ会議)は「市民グループによる

パネル展示団体は、東京公害患者と家族の会、その法人全国鉄道利用者会議、大気汚染測定運動東京連絡会、持続可能な地域交通を考える会、東京あおぞら連絡会、一般社団法人カーフリーデージャパン、環境NGO・クリエーターズ・クラブ、都電網研究会、由利高原鉄道株式会社、その法人江東区水辺に親しむ会、らくもび、青空の会、その法人みらくる(かつしか自転車タクシー)、その法人たいとう歴史都市研究会、ヒマラヤ杉と寺町谷中の暮らしと文化、町並み風情を守る会、喜多見ポンポコ会議、環境経済研究所/上岡直見で